



▲地域子ども会のキャンプ活動（和納3区子ども会、栄子ども会＝崖松キャンプ場で）

夏休みも一週間近くが過ぎましたね。休みに入る前に、みなさんそれぞれに、この夏の目標を立てたと思いますが、達成のめどはつきましたか。まだまだ、これからかな…？あれもこれもと、たくさん立て過ぎ、すべてが中途半端にならないよう目標をひとつかふたつにしぼることも時には必要ですね。日ごろの学校生活の中ではできないことに挑戦し、悔いの残らない、意義のある夏休みであってほしいものです。

さて、みなさんのお父さん、お母さんは子どものころ、どんな夏休みを過ごしたのでしょうか。今月は「夏休み子ども特集」として、お父さんたちの子どものころの夏休みとお友達からは今年の夏休みの抱負を書いてもらいました。みなさんのお父さんたちの話も聞きながら、有意義な夏休みにしてくださいね。

終戦直後の夏休み



広野孝二さん（和納九区・43歳）

蝉時雨をのせて畑の小道のたも木並木を涼風が吹き抜ける一昆虫採集や押花採集に夢中で過ごした終戦間もない、私の少年時代の夏休み。社会もようやく落ち着きを見せかけて来たころです。

私の海水浴初体験は、6年生の林間学校で寺泊へ行った時でした。小川では泳げたつもりが、海の広大さに圧倒され、胸苦しさに砂浜へすぐに逃げ返ってしまいました。その日の海は、波が高く他の町の子供がおぼれてしまい、和納小学校の先生方が必死に救助し、九死に一生を得たその女の子の放心したような顔が思い出されます。

また、朝露を踏んで行った小川の魚釣り、木かげでの夏休み帳の学習、水辺での相撲、しじみ採り、夕立ち、ほたるを追いかけての夕涼み、お盆の墓まいり、夜空の星座探しなど…今は懐かしい当時の風景が思い出されます。



柏分勝子さん（間瀬七区・41歳）

ハマナスの実も食べましたよ

海岸一面に咲き誇るハマナス、潮の香いっぱいの広い砂浜。子供のころの夏の間瀬の風景でした。

私にとって夏休みの思い出、それは海での楽しい遊びでした。三々五五連れだって海へ行き、屈託なく思う存分振る舞った日々、今でも強く印象に残っています。

泳ぎは、誰から教えてもらったわけではなく、遊びの中で自然に覚えたようです。そして友達と小学校の下の浜から港の防波堤まで競泳もしたものです。指導者もいないのによく泳いだものだと思います。また、海の静かな日より、むしろ波高く荒い日に、船の板底を使つての波乗りは、当時は最高の遊びでした。時には深い所に潜つて石を積み上げる遊びも楽しかった……。

現在の下山海水浴場付近は、見事なハマナスの群生があり、そこから実を取つては海水で洗って食べたことなど……私はこの子供のころの思い出をいつまでも大切にしていきたい。

親の体験とみんなの抱負

〈夏休み / 子ども特集〉

夏休みを有意義に

遊び道具は自分で工夫して

竹内国男さん（渦上・40歳）



今から30年ほど前の私の小学生時代の夏休みを思い出してみたいと思います。

そのころの夏休みは今より短かったようです。田植えと稲刈りの手伝い遊びがあったからです。しかし、楽しい遊びがいっぱいありました。まず、「水かえ」です。用排水の水たまりの前後に「せき」を作り、中の水を男の子も女の子も、泥まみれになりながら、バケツでくみ出すのです。水位が10センチくらいになると、雑魚が手づかみできました。みんなで平等に分けて、夕食のたんぱく源にしたものです。

また、チョロチョロと流れる小川でしじみを採ったり、土手の湧水でミニダムを造つたりして、毎朝必ず見に行つたことなど鮮やかに思い出されます。

臨海学校では、先生をはじめ部落の青年団の人からも、手とり足とりで泳ぎ方を習ったものです。でも遊んでばかりではなかったんですよ。牛や馬のための草刈りに汗を流し、宿題は早めに終わらせ、自由研究、工作なども結構器用にやったように思いますよ……。

こんな休みにしたい

金管パレードと水泳の特訓

阿部裕子さん（岩室小六年）



私は、小学校最後の夏休みなので、思い出をたくさん作りたい。例えば、岩室温泉まつり（7月30日）の金管パレードと水泳の特訓です。特訓は、毎日毎日で大変疲れます。でもこれも一つの思い出になると思います。

宿題はたくさんあるけれど、がんばって、なるべく早く終わらせ、残りの日は友達と遊んだり、出かけたりたいんです。

この夏休みは、一生忘れられない楽しい日々を送りたいです。

目標はクロール25メートルと日記

阿部良信くん（間瀬小六年）



今年の夏休みは小学校最後の夏休みです。しっかり計画を立て、今までとは違った充実した生活を送りたいと思います。

今年、実行することを二つ決めました。一つは、水泳はクロール（自由型）で25メートル泳げるようになること。二つめは、日記を毎日続けて書く。

僕は、この二つを必ず実行して、思い出に残る夏休みをしたいと思います。

いろんなことにチャレンジしたい

亀山真理さん（和納小六年）



今年の夏休みは、水泳の特訓をしてがんばろうと思います。私は、あきらめが早い方なので、いつもやる気をなくして困ります。でも、この特訓をやって、自分の心をきたえなおしたいのです。もっと根性がある人間になり、いろいろなことにチャレンジできるようにになりたいんです。

今、バタフライの練習をしています。2年目なので、今年こそは、50メートルを40秒台で泳ぎたい…。クロールがやりたかったけど、バタフライの選手になって、水泳大会で力いっぱい泳げるようにしたいな。

やりたいことが山ほど

丸山雄一くん（岩室中二年）



夏休み……。昨年までは、前半に宿題を終え、後半は遊びまわる、こんな感じだった。しかし、今年僕は中三。そうはいかない。高校受験に備えて、勉強しなければならない。目標を持ち、計画を立て、自分がしなければならないことをしっかり確認して取り組もうと思います。

今年もやりたいことが山ほどあります。生徒会の仕事や体育祭の準備も忙しいと思うが、どれも確実にやっつけたいと思います。

懐かしい思い出



寺沢孝子さん（穂曾・42歳）

西川がプー代わり

子供のころ和納に住んでいた私の夏休みで思い出すことは、西川や新川での水遊び。そのころは、プールはなく川の水が濁っているにもかかわらず、男の子は橋からの飛び込みに興じ、パンツやシャツを茶色に染めたものです。板切れにつかまって泳いだり、自転車のチューブ（浮き輪代わり）につかまったりして遊びました。また、しじみを採ったり、雑魚すくいなどをしたものです。

川の底が泥なので、川の真ん中へ行くと足をすくわれて、おぼれる子供もいましたが、お互い助け合って遊びました。今なら、危険でとてもできませんね。川の中であれば、どこでも良いというのではなく、上町、中町、下町（和納）とそれぞれ遊ぶ範囲を児童会で決め、川の中に入る時間もちゃんと決めて遊んだものです。